



つうしん スマイル通信

こころからあなたへ



特定非営利活動法人

発行元：特定非営利活動法人 こころ
住所：〒428-0007 静岡県島田市島581番地の14
連絡先：TEL：0547-46-5561 FAX：0547-46-5566

皆さん、こんにちは!!

コロナウイルスが収束してきたかと思いましたが、やはり第2波がやってきました。第3波にも気をつけてください。一人一人の行動が大切になってきます。夏にマスクをすると暑し、蒸れるし、大変ですが…一日も早く、元のような生活に戻れるように願っています。

ピアスタッフ一同



～ピアの合言葉～

「誰もが地域で当たり前
に暮らせるように」

～お知らせ～

7月末日にて退職しました。

ピアスタッフは辞めても、自分の中のピアの精神は不滅です。仲間大切さを教えてくれたピアの精神は忘れずに次のステージで頑張ります。

かとうやすひで
加藤康秀

～活動内容～(2020年3月～8月)

Topics

・コロナ禍での新しい取り組み

コロナウイルスの影響で、様々な会議や研修が中止または延期になりました。病院へ面会に行く事も出来ませんでした。今、自分達に何が出来るかを模索し、仲間に手紙を書いたり、電話を掛けたりしました。日常の当たり前だったことが出来ないということは、こんなにも苦痛なのかと感じるとともに、改めて日々の暮らしの大切さに気付かされました。

・ぬのマスク作り

不織布マスクの不足から就労継続支援B型事業所(就B)で布マスク作りを行いました。空いた時間に型取りや裁断、アイロンがけ等、出来る事を手伝いました。慣れない作業は大変でしたが、これが世の中の人の役に立つと思うと頑張れました。



・聖隷クリストファー大学講義(6月26日)

聖隷クリストファー大学にて、菅原理事長がピアについての講義を行いました。ピアスタッフ4名も参加し、活動内容及びリカバリーストーリーの発表をしました。(体調の悪いピアもいましたが、何とか乗り越えられてホッとしています。)学生さんからは、「ピアスタッフの存在は知っていたが、直接話聞いて勉強になった」等の感想が聞け、やはりこうした啓発活動はこれからも行っていくべきだと感じました。



こんかい ちいきかつどうしえん しょうかい
今回は「地域活動支援センター」についてご紹介します。

ちいきかつどうしえん ちかつ 地域活動支援センター(地活)について

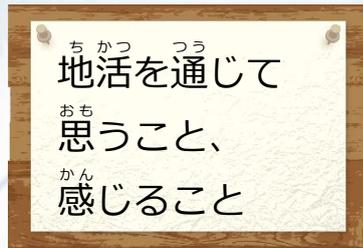
仲間が、地域で安心して暮らしていくための居場所の一つです。みんなが安心して、自分らしく、自由にありのままに居られる居場所を目指しています。ランチ作りやクラブ活動などを通して、人間関係やコミュニケーションを学んでいく場にもなっています。ピアスタッフは、3名が配属されており、それぞれNPO法人ころ内島の島事業所、榛原事業所で勤務しています。仲間と世間話や病気の話をしたり、活動する中で、ピアサポートを感じられる場となっています。



だれ 誰かそばに居る
だけでうれしさや
こご 凍えそうなこの
むね おくそこ
胸の奥底に



なに 何かを話さなく
てはいけないと
かん 感じてしまい
ちんもく 沈黙が続くのが
つら 辛いです。



その場に居ること
から、仲間とのバウ
ングリーまで、全て
において奥深く、
むずか 難しい世界です。



わたし 私 は、地活が
にがて 苦手です。こんな
ひと 人がいてもいい
かな？ 皆さんに
みな にとって、楽しい地
たの 活でありますよ
かつ うに!!



たの 楽しい!!
いろ 色々な人と関われ
ひと るので、自分のコミ
じぶん ュニケーション
のりよく 能力が上がって嬉
うれ しい。

～編集後記～

新型コロナウイルスの影響で皆さん大変な事と思
えいきょう みな たいへん こと おち
います。

そんな中で私達ピアスタッフも日々の暮らし
なか わたしたち ひび く
の中で出来る事を精一杯やっています。
なか で きること せいいっぱい
今回も通信を発行できる事に本当に感謝の気持
こんかい つうしん はっこう ことほんとう かんしゃ きも
ちでいっぱいです。

どうぞ皆さまもお元気でありますように!

♥ ちなみにピアスタッフが誕生して3年目に
たんじょう ねんめ
なります! これからもよろしくお願ひします!

じかいごう ふゆごころ はっこう
次回号は冬頃に発行します!

さみしい 鬼

久保田

よく、大人になれと言われる。
おとな
大人になるって、どんなこと?
かんが 考えれば考えるほどわからなくなる。
どうして、
おとな 大人にならなければならぬのか?
だれ たす 誰か助けてって、言ってもいいのでは?
ひとり 一人ぼっちは嫌だから!
どこにも答えなど無いのに自分で解決
じごん しようとしてもとても難しい。
いつか、誰かに聞いてみたい。
わたし そんな私がいる。